

---

---

1年次（前期）

---

---

**【概要・目標】**

概要：地域に出向いて見聞きし、そこでのさまざまな体験を通して、地域に暮らす人々がどのような環境の中で「暮らしと健康」を考えているかを探求する。

- 目標：1) 地域で生活している人々を訪問し、地域に密着した生活のありようを知る。  
2) 人々の暮らしから健康をまもる生活の実態を知る。  
3) 人々の暮らしをまもる保健・医療・福祉の実態を知る。  
4) 体験を通して保健看護への興味・関心が深まる。

---

**【授業内容のスケジュール】**

- 1) 実習は4月に集中で行う。
- 2) 実習場所  
かつらぎ町
- 3) 実習の前にはオリエンテーションを実施する。
- 4) 実習終了後にまとめを行う。
- 5) 詳細は別途説明する。

---

**【評価】**

実習目標達成度（60%）、実習への参加態度（20%）、提出物（20%）

---

**【教科書】**

なし

---

**【推薦参考図書】**

適宜紹介

---

**【その他】**

---

---

**基礎看護実習 I**

水 田 真由美 教授  
岩 根 直 美 准教授  
坂 本 由希子 准教授  
野々口 陽 子 助教  
米 島 望 助教

---

---

**1 年次（後期）**

---

---

**【概要・目標】**

概要：保健看護を学ぶ基礎として臨地で実習を行う。

この実習では、看護が実践されている場と健康障害を持った人々の治療環境を学び、看護場面の見学や基礎的なコミュニケーションを体験し、主体的に学習する。

- 目標：1) 病院の構造、設備、機能を知ることができる。  
2) 健康に障害のある人の入院環境と生活を知り、望ましい療養環境について考えることができる。  
3) 病院における看護活動の実際を知り、看護の機能と役割が理解できる。  
4) 入院患者および周囲の人々とのコミュニケーションを通して、対象者の理解ができる。  
5) 看護への興味・関心を深め、主体的に学習する態度を養うことができる。

---

**【授業内容のスケジュール】**

## 1) 実習時期

後期：1月の1週間

## 2) 実習施設

和歌山県立医科大学附属病院

## 3) 実習の前にはオリエンテーションを実施する。

## 4) 実習終了後にまとめを行う。

---

**【評価】**

実習目標（評価表）に沿って、参加状況・実習記録・レポートを総合して評価する。

---

**【教科書】**

なし

---

**【推薦参考図書】**

適宜紹介

---

**【その他】**

---